

日本蜘蛛学会第 44 回大会

会期 : 2012 年 8 月 25 日 (土)・26 日 (日)

会場 : 霞城セントラル 3 階 山形市保健センター

(〒990-0827 山形市城南町一丁目 1 番 1 号)

日 程

8 月 25 日 (土)

受付	9:25～
開会	9:50
一般講演 (口頭発表)	10:00～12:10
特別講演	13:00～14:00
写真撮影	14:00～14:10
ポスター発表	14:20～15:10
シンポジウム 1	15:20～17:00
総会	17:10～18:00
懇親会	18:20～20:20

8 月 26 日 (日)

受付	9:25～
シンポジウム 2	9:50～11:30
一般講演 (口頭発表)	11:40～12:10
一般講演 (口頭発表)	13:00～14:00
閉会	14:00

●役員会 8 月 24 日 (金) 霞城セントラル 3 階 山形市保健センター

編集委員会	13:30～14:20 大会議室内映写室
評議員会	14:30～15:50 大会議室内映写室
自然保護委員会	16:00～17:00 大会議室

大会案内

●受付

- ・受付は霞城セントラル 3 階の山形市保健センター大会議室前です。開場は 9 時 30 分です。
- ・当日参加も可能です (大会参加費一般 4,000 円, 学生 2,000 円, 懇親会費一般 5,000 円, 学生 3,000 円)。
- ・受付でお渡しする名札 (懇親会ご出席の方のそれには赤いマークがついています) は, 最終日のお帰りの際には受付に設置の箱にお返し下さい。

●一般講演 (口頭発表)

- ・講演時間は発表 12 分, 質疑応答 3 分の計 15 分です (開始から 10 分で予鈴 1 回, 12 分で 2 回, 15 分で 3 回ベルを鳴らします)。
- ・PowerPoint のファイルを USB フラッシュメモリ (または CD-R, DVD-R) に入れてお持ちいただき, 会場に到着されましたら, 早めに, 会場内の映写用のパソコン (Windows 7 に PowerPoint 2010 をインストール) のデスクトップにファイルをコピーして, 文字化けなどがいないか事前にチェックをしてください。

- ・ 発表時の PowerPoint 映写は発表者ご自身で操作してください。
- ・ 口頭発表の演者は、発表終了後、次の講演の座長をお願いします（最初の講演の座長は事務局で担当）。

●ポスター発表

- ・ ポスターボードの大きさは、縦 170 cm, 横 100 cm です。ポスターは 1 日目の昼までに設置してください。
- ・ 1 日目の午後予定のセッション時にはポスター前で説明をお願いします。奇数・偶数番号 25 分交替です。
- ・ ポスター発表をされる方は、受付がすみましたら、ただちにポスター会場にポスターをご掲示ください。
- ・ ポスターを貼るためのピンは事務局で用意します。
- ・ ポスターは 26 日の大会終了時（早めに帰られる方は、お帰り時）までご掲示ください。

●シンポジウム

- ・ 講演時間は発表 20 分、質疑応答 5 分の計 25 分です（開始から 15 分で予鈴 1 回、20 分で 2 回、25 分で 3 回ベルを鳴らします）。また、企画者の趣旨説明 10 分および総合討論 15 分とします。
- ・ 座長は企画者をお願いします。

●懇親会

- ・ 懇親会は 8 月 25 日（土）18 時 20 分からホテルメトロポリタン山形（山形市香澄町一丁目 1 番 1 号 山形駅東口）にて行います。大会会場から徒歩で移動します。

●昼食

- ・ 8 月 25 日・26 日の昼食は弁当（要予約）を用意します。弁当を希望される方は、各自参加申込の際に予約するようお願いいたします。会場での昼食は可能です。
- ・ 霞城セントラル 1 階、24 階および周辺に食堂があります。コンビニは霞城セントラル 1 階東側にあります。
- ・ 昼食時以外を含め飲み物を会場内でとることはかまいません。自動販売機は 1 階アトリウム東にあります。

●禁煙

- ・ 大会会場は禁煙です。霞城セントラル内は一部の飲食店を除き禁煙です。

●文献

- ・ 販売または無料配布の文献は大会終了まで会場にて展示します。事務局では場所のみ提供します。

●宿泊

- ・ 宿泊の斡旋は行いません。各自でご予約をお願いします。ホテルは JR 山形駅周辺に多数あります。

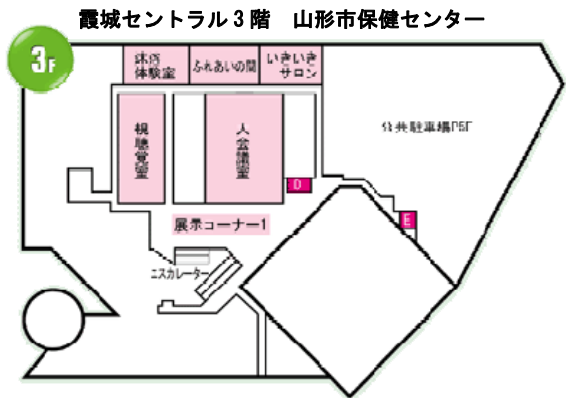
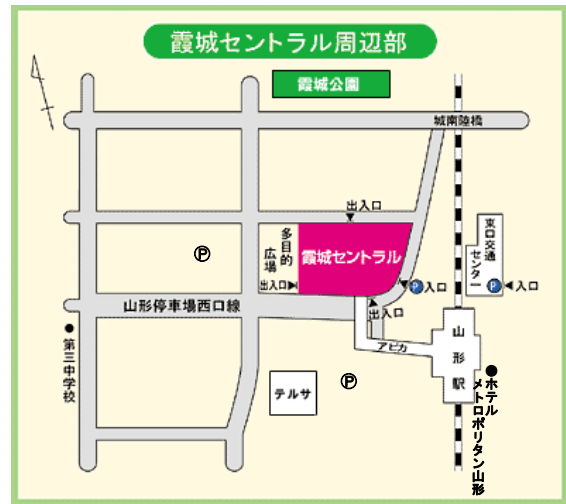
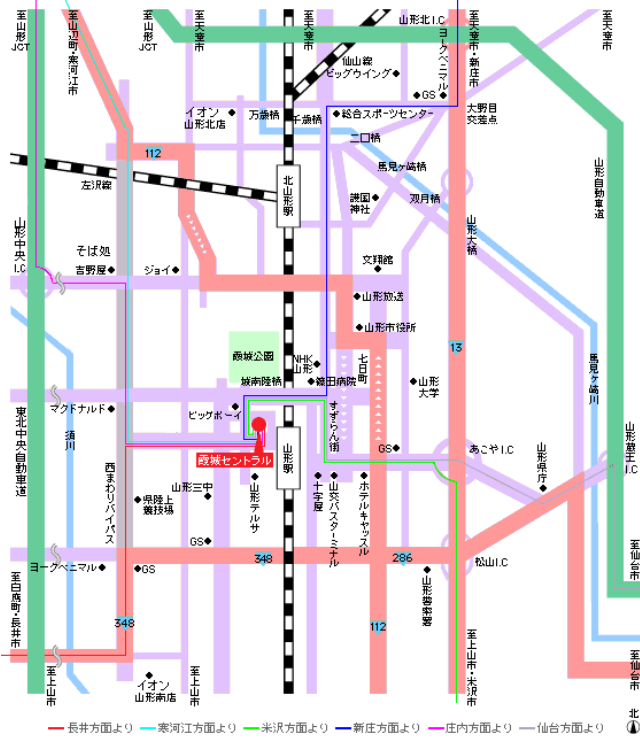
●駐車場

- ・ 無料駐車場は近くにありません。霞城セントラルおよび近くに有料駐車場があります。

●JR 山形駅への交通（大会会場、懇親会会場ともに JR 山形駅隣接です。）

- JR 利用：JR 山形駅 までは、東京方面から山形新幹線「つばさ」をご利用ください。
 - ・ 仙台からは JR 仙山線がありますが、バスの方が本数も多く便利です。
- 都市間バス利用：東京、大阪、新潟、仙台から山形行きのバスがあります。
 - ・ 仙台から山形行きのバスは 1 時間に 3~4 本程度運行されています。仙台駅前 22 番乗り場から。
- 航空機利用：山形空港までは、東京—山形、大阪—山形の路線があります。便数が少ないのでご注意ください。また、山形空港から山形駅までは山形空港ライナー（乗合タクシー）が運行されています。予約制です（料金 1,200 円 山形空港ライナー予約センター 023-684-9500）。席があれば予約なしでも乗車できます。または、一般のタクシー利用となります（料金 7,000 円程度）。
 - ・ 仙台空港利用の場合、JR 仙台駅までの連絡鉄道、仙台駅からは JR 仙山線または都市間バスがあります。
- 自動車利用：東北自動車道の東京・仙台方面から村田 JC で山形自動車道に入り、山形蔵王 IC でお降りください。山形駅までは一般道になります。
 - ・ 山形自動車道の鶴岡・酒田方面からの場合、山形 JC から東北中央自動車道に入り、山形中央 IC でお降りください。山形駅までは一般道になります。

会場までの周辺地図



交通アクセス経路詳細【到着地：山形市】

	東京駅	山形新幹線	最短 2時間30分	山形駅		
	仙台駅	仙山線	最短 1時間7分			
航空機 山形空港発着	羽田空港	1時間	山形空港	山形空港ライナー (予約制乗合タクシー)	30分	山形市内
	大阪伊丹空港	1時間20分				
航空機 仙台空港発着	新千歳空港	1時間10分	仙台空港	仙台空港 アクセス 鉄道快速	17分	山形駅
	成田空港	55分				
	小松空港	1時間				
	中部国際空港	1時間15分				
	大阪伊丹空港	1時間10分				山形市内
	広島空港	1時間20分				
	福岡空港	1時間40分				
	那覇空港	2時間30分				
	仙台駅	直行	1時間	山形駅		
	東京	直行(夜行)	5時間30分			
	大阪	直行(夜行)	11時間40分			

◆ 8月25日（土）

9:25 受付開始

9:30 開 場

9:50 開 会

●一般講演（口頭発表）

10:00 O-01 山崎健史（鹿児島大・理工）

ヤガタアリグモの学名について

10:15 O-02 緒方清人（中部蜘蛛懇談会）

愛知県におけるムシバミコガネグモの分布と生息環境及び成熟時期ならびにコガタコガネグモとの野外識別点

10:30 O-03 入江照雄 [熊本県熊本市]

ヒゴユウレイグモの分布と生息環境

10:45 O-04 ○馬場友希・田中幸一（農業環境技術研究所）

農業用水路におけるアシナガグモ類の個体数と種組成

11:00～11:10 休 憩

11:10 O-05 ○飯田博之・河野勝行・武田光能（野菜茶業研究所）

三重県平野部におけるウヅキコモリグモ成体の欠脚個体率の季節変動

11:25 O-06 ○田中幸一・馬場友希・楠本良延（農業環境技術研究所）

水田におけるコモリグモ科の種組成および個体数の地理的違い

11:40 O-07 ○田中一裕¹・田中穂積²・伊藤清光³・渡 康彦⁴

(¹宮城学院女子大, ²園田学園女子大, ³北海道農業研究セ, ⁴芦屋大)

アライトコモリグモの歩行活動の日周期リズム

11:55 O-08 ○中田兼介¹・繁宮悠介² (¹京都女子大, ²長崎総科大・環境建築)

ギンメッキゴミグモにおける体色と肥満度および産卵数との関係

12:10～13:00 昼 食

●特別講演

13:00～14:00 夢の繊維「クモ糸」実用化への挑戦

スパイバー株式会社代表取締役社長 関山和秀

●写真撮影（会場内の予定）

14:00～14:10

14:10～14:20 休 憩

●一般講演（ポスター発表）

- 14:20～15:10 7題
14:20～14:45 奇数番号ポスター
14:45～15:10 偶数番号ポスター
15:10～15:20 休憩

●シンポジウム1 「クモの形態の多様性とその意義」

15:20～17:00

- 15:20 趣旨説明
企画者：宮下 直（東大・農・生物多様性）
15:30 S1-1 井原 庸（広島県環境保健協会）
交尾器の多様性
15:55 S1-2 ○山崎健史¹・橋本佳明²・遠藤知二³
（¹鹿児島大・理工，²兵庫県立人と自然の博物館，³神戸女学院大・人間科学）
アリ擬態によるアリグモ類の形態の多様化
16:20 S1-3 新海 明 [東京都八王子市]
クモの網の多様性と進化：ナゲナワグモの網は「円網」だ
16:45 総合討論

●総会 17:10～18:00

●ポスタータイトル一覧

- P-1 鈴木佑弥（静岡県立磐田南高等学校生物部）
ヤリグモの捕食行動について
P-2 筒井 優（東大・院農・生物多様性）
農地景観の草地に生息する造網性クモ類の生息適地
P-3 ○原口 岳・陀安一郎（京大・生態研）
植生二次遷移に伴うクモ群集変化の特徴
P-4 川戸悟史・仁宮雅弘・岸田 薫・○鶴崎展巨（鳥取大・地域学部）
近畿地方東部～岐阜県におけるアカサビザトウムシ（クモガタ綱ザトウムシ目）の染色体数の地理的分化
P-5 佐藤英文（鶴見大・短大）
関西地方で採集される *Allochthonius* 属の1新種
P-6 池田博明（日本ハエトリグモ研究センター）
チクニハエトリは *Helicius* 属か
P-7 ○馬場友希¹・吉武 啓¹・吉松慎一¹・井原 庸²（¹農環研，²広島県環境保健協会）
mtDNA に基づく日本産ヤミサラグモの系統関係

◆ 8月26日（日）

9:25 受付開始

9:30 開 場

●シンポジウム2 「日本のクモ目はどれだけ調べられたか」

9:50～11:30

9:50 趣旨説明

企画者：吉田 哉（山形県立博物館）

10:00 S2-1 加村隆英（追手門学院大学）

日本のワシグモ科研究の概要

10:25 S2-2 井原 庸（広島県環境保健協会）

地理的分化の著しい地表性クモ類：記載分類の現状と課題

10:50 S2-3 谷川明男（東大・農・生物多様性）

日本のクモの分類学の現状

11:15 総合討論

11:30～11:40 休 憩

●一般講演（口頭発表）

11:40 O-09 宮下 直（東大・農・生物多様性）

「クモ密度—生息パッチ量の関係」の一般則

11:55 O-10 ○鶴崎展巨・川戸悟史・松本 透（鳥取大・地域・生物）

北アルプス周辺で輪状種となるアカサビザトウムシの環状重複域における染色体数の地理的分化

12:10～13:00 昼 食

13:00 O-11 奥村賢一（長崎県立諫早高等学校）

ヤチグモ類の分類における形態形質の重要性

13:15 O-12 ○須黒達巳・八畑謙介（筑波大院・生命環境）

Evarcha sp. (C) とは何か—分子系統解析による検討—

13:30 O-13 谷川明男（東大・農・生物多様性）

オキナワキムラグモ属の命名種分類の再検討

13:45 O-14 吉田 哉（山形県立博物館）

ツクネグモ類の形態と属名

14:00 閉 会